

通年テーマ「聴く力」

	開催日	時間	講師	予定内容
1	6月11日(日)	10:00~14:30 オンライン	中田行重先生 (関西大学)	ロジャーズ派、エンカウンターグループやフォーカシングなど様々な先人との出会いからクライアント中心療法・PCAに至ったご経験を通して、現在聴くことについてどのように考えるかうかがいたと思います。
2	7月9日(日)	10:30~15:00 オンライン	星加博之先生 (関西大学)	学校現場における豊富なご経験から、またフォーカシングを通した関わりからどのように聴くことについて考えるかうかがいたと思います。
3	9月10日(日)	10:30~15:00 オンライン	飛谷渉先生 (大阪教育大学保健センター)	思春期の声を聴く：近年思春期のこどもの声は小さくなりました。少し前まで、彼らは「わたしはだれ？」というアイデンティティの混乱の中で声を大にし、困難な葛藤に苦しんでいました。現代の思春期の若者は静かです。でも、耳を澄ませば聞こえてくるのは、「私は生きているの？」という小さな声です。いったい彼らに何が起きているのでしょうか。今回皆さんと、小さくなってしまった思春期の子どもたちの声を聴いてみたいと思います。
4	12月10日(日)	10:30~15:00 オンラインor 対面(検討中)	コーディネーター：緒方優子先生・住貴浩先生 (電話相談員)	電話相談は「聞く」ことに非常に集中する構造になっていると考えられる。普段は様々なオリエンテーションや視点を持つ心理士たちが、電話で相談を受けることによって得た経験より、「電話相談で聞くこと」「電話相談とは何か」ということを考えたいと思います。※電話相談員数名を話題提供予定
5	1月12日(日)	10:30~15:00 対面	コーディネーター：池田光芳先生	若手の心理士を中心に「聴く」「語る」を考える。学びを受け取る側だけでなく、アウトプットする側になることによって得られる学びも多い。そこで主役を若手心理士におき、これまでの通年研修から得られた「聴く」ことについてシェアし、またそれぞれの臨床現場で体感している「聴く」について語るにより、臨床心理士として「聴く」と「語る」ことを考えたいと思います。
6	3月10日(日)	10:30~15:00 対面	大久保純一郎先生 (こども家庭福祉部会担当理事)	心理検査では、支援に繋げるために「聴く」ことが重要である。K式発達検査では、被検査者の観察・検査を通して言葉にならないメッセージを聴き、またとりまく環境、親、園等からも困りや願いを聴き、それを支援に繋げていく。そこでK式発達検査を通じた実際の関わりから、何を聴き、どう繋げるのか考えたいと思います。

【本研修について】

1)本研修について：(財)日本臨床心理士資格認定協会の定める教育研修規定に基づく継続研修です。

奈良県臨床心理士会が主催する研修であり第2条(2)に当たります。

- 2)研修ポイントについて：5回以上の受講者は4ポイントが取得できます。
- 3)参加申込みについて：各回の1ヶ月程度前に全体MLおよびHPにてご案内をいたします。
- 4)参加資格：当会会員（正会員・準会員）
- 5)参加費：無料
- 6)運営について：本研修は会員有志による運営を目指します。運営にご協力いただける方はぜひお申し出ください。

（一社）奈良県臨床心理士会 通年研修部

問合せ先：当会研修委員 nscpp.kensyu@gmail.com